

夢創造

今年の漢字に「令」が選ばれました。写真は過年度の漢字も含めたものです。新しい「令」和の時代のスタートにふさわしい漢字ですね。



令和元年12月16日（月）no.26 文責：上田

修学旅行 “旅の楽しみ”

6日（金）から8日（日）の2泊3日、8年生が奈良・京都・大坂への修学旅行に出かけました。全国的に秋が短いとも言われていますが、やや遅めではありましたが古都の紅葉を楽しむこともできました。多くの観光客が訪れていて、飛び交う言葉も英語・中国語・韓国語が多かったことも印象に残りました。

さて、9月の前期6年生の長崎・佐賀への修学旅行とも通じることですが、修学旅行で子どもらが見聞きする多くの事柄は、彼らが成長しても学校での思い出として記憶に残ることです。家族旅行とは違い、仲間と寝起きや食事を共にした経験も、移動のバスや電車、飛行機もすべてが旅行の思い出となります。班活動で訪ねた神社や城などの史跡での些細な出来事も覚えているから不思議です。“旅”という普段の生活にはない時間の流れが、記憶として鮮明に残されるのかもしれませんが。今回の修学旅行も子どもたちには思い出深いものとなったようです。



村人権集会 “いのちをいただく”

7日（土）の人権集会には絵本『いのちをいただくーみいちゃんがお肉になる日』の企画・原案者の坂本義喜さんを招き、講話をお聞きました。「ごめんね、みーちゃん、お肉になってね」という女の子の思いが、命をいただくことの意味を問い直すことにつながったという方もおられたことでしょう。

私たちは自分の“ものさし”で人のことをあれこれ測るものです。ですが、その“ものさし”がどんなに自分勝手なものかを知らなくてはなりません。人の値打ちを誰かの言葉や見かけだけで測ってしまっていないか、傷つけることになっていないか、自分自身を問わなくてはならない気持ちになりました。

“いただきます”という言葉は命をいただくことで、感謝の気持ちを表す言葉なんです。

